

兵庫県立大学 姫路市との連携事例

自治体の課題(ニーズ)



【どこから】

姫路市消防局との緊急車両(消防車・救急車)の緊急走行時の交通事故防止・安全教育に向けた取組である。

【どんな課題】

緊急車両の緊急走行時の交通事故は、社会的影響が大きく、事故減少に向けて多くの取り組みが行われている。しかし、出動件数の増加や熟練者の減少などの影響もあり、事故件数の大幅な減少にはつながっていない。

【参加者】

姫路市消防局職員

研究成果(シーズ)の還元



【緊急走行を再現したVR運転シミュレータ】



【消防士評価】

【出典:日本バーチャルリアリティ学会, 2024年学術講演論文集】

【実施内容例】

- ・消防士と意見交換を行いながら、緊急走行を再現したVR運転シミュレータを開発した。
- ・開発した運転シミュレータを用いて、消防士と一般人の運転行動の違いを確認する評価実験を行った。

【活動成果】

- ・消防士と一般人の運転行動を比較すると、交差点進入時の車速・視線・頭部の動きなどに違いがあることを確認した。
- ・消防士に体験してもらった感想として、「画面で見ると違って臨場感がある」といった好意的なコメントが得られた。

この連携に携わった研究者



工学研究科
山添 大丈 准教授

(研究者からのメッセージ)

この研究では、消防士の皆様のご協力をいただきながら、緊急走行を体験できるVR運転シミュレータを開発しています。意見交換や評価実験を通じ、貴重な知見を多く得ることができました。これらの知見をもとに、よりリアルで臨場感のある緊急走行体験を可能にするため、現在もシステムの改良に取り組んでいます。

※ 研究者の経歴等は(URL:<https://researchmap.jp/hyamazoe>)をご参照下さい。